



株式会社ミライロの垣内俊哉社長と「高齢者、障害者が快適に過ごせる社会づくり」についてトークセッション



新田八朗富山県知事と県選出国會議員で岸田総理に液化化対策支援等を申し入れ



第61回 技能五輪 全国大会
愛知県国際展示場 会場
展示ホールB・C・D 屋外駐車場
2023年11月17日(金)～19日(日)

We Are The Stars.
2023 Japan BILYMPICS 全国アビリンピック
WORKFAIR 2023
展示ホールE・F
2023年11月18日(土)～19日(日)



石川県穴水町「石川職業能力開発短期大学ポリテクカレッジ石川」の被災状況を視察



リハビリ専門職の方々の職場を視察



第42回 北方領土返還要求富山県大会
四島想い心に点す 返還の火

自由民主党 衆議院議員 裕明 ひろあき

たばた裕明

ひびき新聞

富山事務所
〒930-0017 富山市東田地方町2丁目2-5
TEL: 076-471-6036 FAX: 076-471-6037

国会事務所
〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2
衆議院第2議員会館214号室
TEL: 03-3508-7704 FAX: 03-3508-3454

未来の安心を富山の皆さまに ～豊かさ実現へのビジョン～

デフレ脱却が現実となる一方で、少子高齢化の進展による様々な業種における担い手不足、地域医療提供体制や介護施設等でのサービス提供の更なる充実、自然災害への対応、食糧確保を含む経済安全保障の構築、我が国を取り巻く有事への対応など喫緊の課題に対して政治の力が一層必要とされています。

私は経済回復・経済成長を軌道に乗せ、富山の勤労世代の賃金上昇を構造的に実現していきます。生産性向上への投資促進、価格転嫁の徹底、男女間の賃金格差を是正します。

私は世代間の対立や格差のない全世代型社会保障制度を確立し、将来不安にとらわれ安心できない社会を正しい方向に導きます。公平な保険料負担の実現を目指し、働く喜びが実感でき、身に付けた技能を適正に評価する仕組みをつくりまします。

これらのビジョンを掲げ、県民の皆さまの信頼を回復するため、すべてに関して生まれ変わる気持ち、自分自身を変えていくという強い意志で謙虚さと畏怖の念を常に心に留め、ふるさと富山の限りない発展と未来の安心のため職務に邁進します。



略歴

- 主な役職歴 ——
- 内閣
・総務副大臣
・厚生労働大臣政務官
 - 衆議院
・厚生労働委員長
・厚生労働委員会 理事
・文部科学委員会 理事
 - 自由民主党
・厚生労働部会 部会長
・厚生労働部会 薬事に
関する小委員会委員長
・厚生労働部会 協同労働
推進PT座長
・雇用問題調査会カスタマ
ハラスメント対策PT座長
 - 議員連盟
・日本が誇る医療用外用
貼付剤の推進に関する
議員連盟 事務局長
・認知症グループホームを
考える議員連盟 事務局長
・日本ケアマネジメント
推進議員連盟 事務局長
・自由民主党社会保険労務士
議員懇談会 事務局長
・ひきこもり支援推進議員
連盟 事務局長
・L R T 推進議員連盟
事務局長

ワクチン製造拠点を富山に誘致！！ ～富山バイオエコノミー戦略～

ワクチン製造拠点等の整備

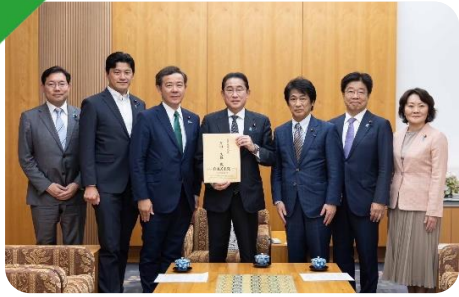


政府は、感染症パンデミック発生時などの際のワクチン製造対応として平時は企業ニーズに応じたバイオ医薬品を製造する一方で有事の際には国の要請に応じてワクチン製造へと切り替える「デュアルユース設備」を有する拠点設備の整備に3274億円の予算を確保し政策を後押ししている。

具体的には国内8ヶ所のワクチン製造拠点を決めた。富山市の富士フィルム富山化学株式会社も選定された。令和5年7月、同社のデュアルユース拠点新設工事の始動式に出席した田畑は「新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、海外のワクチンメーカー頼みでなく、国産のワクチン製造環境の整備が喫緊の課題だ。早期の稼働に向けて私も全力を尽くす所存だ」と決意を語った。



自民党カスハラ対策プロジェクトチーム 座長として総理に立法措置を提言！



顧客が理不尽な要求をする「カスハラ」が社会問題となる中、今年3月に自民党雇用問題調査会カスタマーハラスメント対策PTが発足し、田畑が初代座長に就任した。5月に岸田文雄総理と面会しカスハラ対策のための立法措置を求める提言書を提出した。総理から「提言を重く受け止め政策に反映させたい」と前向きな回答を受けた田畑は「カスハラ」の定義や範囲、また消費者の権利と責任を明確にし対策を盛り込んだ立法措置を求める。労働者が顧客の常軌を逸する不当な要求に屈することなく、業務管理者は適切に労働者を守る体制が急務だ」と法整備の必要性を語った。



富山市民を河川氾濫、浸水から守り抜く！ ～神通川、常願寺川の堤防整備等に全力を～



近年、豪雨等による国直轄河川の規模な浸水被害が全国で頻発している。とりわけ富山平野は神通川流域、常願寺川流域に挟まれており防災・減災・国土強靱化への対策が喫緊の課題である。

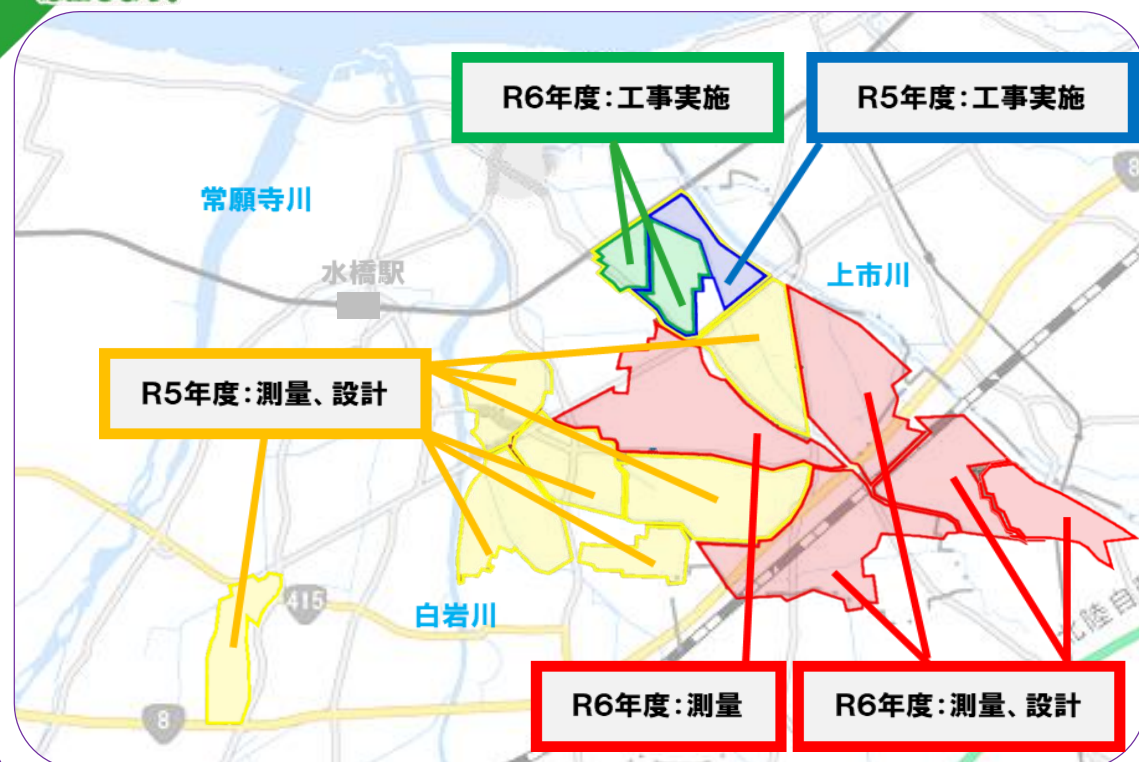
田畑はその認識のもと、激甚化する風水害対策のため政府が定めた「国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」に両流域の堤防整備や護岸整備、河道掘削等の予算確保に奔走し、着実な整備を進めてきた。市民生活の安心・安全のため引き続き万全を期す覚悟だ。

年度	直轄河川改修費*
令和6年当初予算	12.3億円
令和5年度補正予算	5.8億円
令和5年当初予算	13.4億円

※両河川改修費の予算額



水橋地区、農地の大区画化整備による 営農活動の効率化・省力化を強力に進めます！



令和3年度に国営での圃場整備が事業決定され、令和5年度より本格的に大区画化整備が進められている水橋地区。用排水路や農道整備も同時に実施しスマート農業も取り込んだ営農活動を目指すものだ。総事業費は約260億円。令和15年度の完成時には614畝の受益面積により水稲、野菜園芸作物、花卉栽培など多様な営農活動の拠点となる。

田畑は「食料自給率を高め、平時から国産による食料の安定供給体制を確立すべきだ」と主張しており、水橋地区の圃場整備事業を着実に進め、完成へと導く気概に満ちた様子だ。

年度 (事業期間: 令和3年度～15年度)	事業費 (総事業費: 260億円)
令和6年当初予算	10.2億円
令和5年度補正予算	5.6億円
令和5年当初予算	9.0億円